

北黄金貝塚のご紹介 (伊達市教育委員会生涯学習課文化財係)

2021年7月27日に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である伊達市の北黄金貝塚についてご紹介します。

北黄金貝塚は噴火湾に面した丘の先端に位置する縄文時代前期(約6千年前から5千5百年前)の大規模な貝塚を伴う集落遺跡です。遺跡には、貝塚のほか、竪穴住居址や土坑墓、盛土遺構、水場遺構など、様々な施設が点在しています。

北黄金貝塚は、縄文時代の人々の暮らしと心がわかる遺跡です。例えば、貝塚の位置や中に含まれる動物種の変遷からは、自然の恵みを受けて生きる人々が、気候変動や周辺環境の変化にもうまく適応して暮らしていたことがわかります。また、貝塚から見つかる土坑墓や動物儀礼の痕跡からは、貝塚を「すべての生き物の墓」として作った人々の心が伝わってきます。

また、北黄金貝塚でしか見つからないものとして、水場遺構での石器を対象とした儀礼の痕跡があります。これは、役目を終えた石皿やすり石等の石器をただ廃棄するのではなく、感謝や再生の祈りを込めて供養した跡と考えられています。

北黄金貝塚は、現代のSDGsにも繋がるような、人と自然、資源とのあるべき付き合い方を教えてくれる教材ともいえます。



▲ 北黄金貝塚

NEWS

北の縄文道民会議は、令和4年4月に設立10周年を迎えました

平成24年4月に「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す道民会議」として設立した当会は、道民をはじめ国内外の方々に、遺跡群や縄文文化の価値・意義への理解を深めていただき、世界遺産登録に向けた道民運動を展開していくことを目的として、イベント出展やオリジナル冊子でのPRなどの広報に取り組んで参りました。こうした活動を10年間続けてこられたのも、当会の取組に御理解いただき、御尽力賜りました皆様のおかげです。

これからも、世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」をはじめ、縄文文化の素晴らしさを多くの方に知っていただけるよう取り組んで参ります。



編集後記

〇冬将軍が立ち去り、北海道にも漸く春がやって来ました。この度、『北の縄文』春号に北海道経済道友会代表幹事 渡辺卓様からご寄稿いただき、お礼申し上げます。編集局一同、これからも縄文パワー、全開で縄文文化の発信に努めて参ります。(T.H)  
 〇3年間、編集委員として北の縄文の制作に携わらせていただきました。大変お世話になりました。長年の悲願であった縄文遺跡群の世界文化遺産登録の瞬間に立ち会えたことは、これまでご尽力されてきた方々の気持ちを考えると感無量の思いでした。今年度からは遠方へ移ることになりましたが、いつまでも縄文人の心を忘れずに頑張りたいと思います。(N.Y)



HOKKAIDO JOMONCLUB NEWSLETTER

CONTENTS

- P1 巻頭あいさつ
- P2-3 北の縄文ファンフェスタの様子をお届け!
- P4 縄文世界遺産コラム  
北の縄文道民会議からお知らせ  
編集後記

巻頭あいさつ



北海道経済同友会  
代表幹事 渡辺 卓

札幌市出身

北海道放送株式会社 取締役相談役

北の縄文道民会議 副代表

昨年7月の「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録は、平成17年に世界自然遺産登録となった「知床」と共に、2つの世界遺産が北海道に共存することになり、国内はもとより世界に北海道をアピールできる絶好の機会を得ることができ、非常にうれしく思っております。

また、一昨年には白老町に北海道初となる国立博物館「アイヌ民族共生象徴空間(ウポポイ)」が開業しており、北海道の縄文文化とアイヌ文化を身近に学ぶことができる環境が整いました。特に若い世代には、両文化に積極的に触れて欲しいと願っております。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、北海道内には函館市、千歳市、伊達市、洞爺湖町の各地に遺跡群があり、道央・道南を中心とした新たな観光ルートの発掘が可能となる他、食と観光の相乗効果も期待できます。

更に日本で初めての先史時代の文化遺産登録であり、世界の人々にも「JOMON」を知ってもらふ絶好の機会になると確信しております。

昨年のアドベンチャートラベルワールドサミット北海道は、残念ながらオンライン開催となりましたが、令和5年に再びこの北海道でリアル開催することが決まりました。サミットの北海道開催は、2つの世界遺産を含め、自然豊かな北海道を世界にアピールする絶好のチャンスと考えます。

インバウンドが回復した際には、ぜひ知床と縄文遺跡群の両方を訪れて欲しいと願っております。当会としてもできる限り応援していきたいと思っております。

私どもの経済同友会では年に一度「経済同友会東北・北海道ブロック会議」を開催し、北海道と東北の会員同士の交流を深めており、昨年10月には福島市で会議が開催されました。世界遺産登録後ということもあり、会議では格別な思いで東北の会員との交流を図ることができました。

世界文化遺産登録を機に、北海道新幹線の札幌駅延伸、オリンピック・パラリンピック札幌開催を見据え、会議などを通じて、東北の会員との交流を更に深めていきたいと思っております。

尚、HBCラジオでは毎週金曜日8時20分から世界遺産写真家の富井義夫氏による「世界遺産1枚の写真」を放送していますが、番組内で北の縄文遺跡群のうち、伊達市にある「北黄金貝塚」を紹介いたしました。またテレビでは、昨年の夏「みんなで食べよう!北海道」の番組内で、函館市の縄文文化をテーマにしたスイーツ「函館縄文スイーツ」を紹介いたしました。今後も北の縄文遺跡群に関する情報を北海道放送としても積極的に発信していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染拡大という大変厳しい状況が続いていますが、北海道経済同友会としても、身近にある世界遺産や北海道の魅力を積極的に発信し、北海道に多くの方々にお越しいただくよう、全力で取り組んで参ります。



3月19日(土)から21日(月)にかけて、北海道庁と共催で「北の縄文ファンフェスタ～2022 春 in チカホ」を開催し、たくさんの縄文ファンの皆様にお越しいただきました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」紹介コーナーの他、お持ち帰りワークショップや北海道観光PRキャラクターキュンちゃんのグッズコーナーなど、内容も盛りだくさんの3日間でした。今回は大盛況だったイベントの様子をお届けします！



▲動画テーマは「縄文×アドベンチャートラベル」  
次の旅行は縄文遺跡に決まり。  
勾玉に土器づくり、、、クリエイティブな縄文時代を体験！



▼「北の縄文」魅力発見フォトコンテスト 入賞作品展  
イベントでのお披露目は今回が初めて！  
写真一枚一枚をじっくり楽しんでもらえました



▲北海道内の土偶が大集合しました！  
細かい文様や独特なフォルムに  
縄文時代のこだわりがぎゅっと詰まっています



▲お持ち帰りワークショップとキュンちゃんのコーナー  
かわいすぎるグッズに癒やされます



▲優しい線のイラストがとにかくかわいい！



▲堂林式土器のペーパークラフトに興味津々…  
ぜひおうちでも楽しんでください！

Special Thanks!

- ◀札幌国際大学縄文世界遺産研究室
  - ▼北海道埋蔵文化財センター
- キュートな塗り絵や岩偶キット、ペーパークラフトが大人気！



Special Thanks!

- ▲北海道観光振興機構
- 北海道観光PRキャラクターキュンちゃんに  
北の縄文 ver が誕生しました！  
これからも応援よろしくお願いします！

この赤い服の女の子は「じよもんちゃん」▶  
土器のフチにぶら下がるようになりました



本イベントは、3日間で約6,500人の方にご来場いただきました。ご来場いただき誠にありがとうございました！展示のみのイベントでしたが、身近な縄文文化に興味を持って見ていただいたり、動画を楽しんでいただいたりと、微力ながら北の縄文の魅力伝えるお手伝いできました。

4月以降、冬季休園していた遺跡の見学も再開されますので、ぜひ現地で縄文の息吹を感じてみてください。

